

一人一人の見方や考え方を生かし、未来に生きる力を育てる 社会科学習の在り方

—中学校地理的分野1年・「中国」の実践を通して—

那珂郡美和村立美和中学校教諭

土橋克彦

1 主題設定の理由

(1) これまでの実践研究から

これまで私は、社会科の学習指導において、社会的なものの見方や考え方を育てることを研究の柱として実践してきた。

まず、子供自ら社会的事象に問いや課題を見だし、思いや願いを生かした自分なりの解決の方法を考え計画を立てる。そして、意欲をもって調べ学習を行い、自分なりの方法で表現し、社会的な事実を明確にとらえることができるようにした。

次に、この獲得した事実認識をもとに、子供一人一人が社会事象の意味について、主体的に考え公正に判断し、話し合い（討論やディベート）などを通して、自分なりの判断を下すことができるようにしてきた。

このような学習を通して、社会の変化および未来社会に向かって、主体的に創造的に生きていく力を身に付けさせるために、子供一人一人の社会的なものの見方や考え方を育てる社会科学習に取り組んできたのである。

(2) 今日の課題から

第15期中央教育審議会の第一次答申が過日公表された。その中で、変化の激しいこれからの社会にたくましく「生きる力」を『自分で課題で見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決していく能力や資質』であると述べている。この内容は、私のこれまでの研究内容及び本論文の研究主題とも合致していると思われる。

(3) 生きる力として「社会的なものの見方や考え方を育てる」という視点から

子供一人一人が、「社会的なものの見方や考え方を身に付ける」ということは、人間として主体的創造的に「生きる力」（社会生活を営む力）を獲得するということである。つまり、学習や生活の中でさまざまな課題の解決場面に出会ったときに、必要な見方や考え方を引き出し活用しながら、自分なりの判断や解決ができるようにすることである。

(4) 未来志向の社会科学習という視点から

危機的状況あるいは期待する未来社会を設定し、そこから現在及び過去の社会的事象を調べたり考えたりすることによって、社会生活について総合的に理解し、自分なりの見方や考え方を生かして、地域社会及び国際社会の未来社会を創造したり、自分なりの生き方を考えたりして、期待する未来社会の実現に向かって努力していこうとする意欲や態度を養うことが大切である。

ここで問題となるのは、未来社会の未来をどの範囲で捉えたらよいかということである。将来と未来という用語がある。将来（将に來るべき）を近未来と解釈し、将来は未来に包含されるものと

して捉えたのである。つまり、未来社会の範囲とは、子供たちが近い将来自己実現できる範囲と遠い将来において自己実現したいと考える範囲と捉えている。

このように、未来社会を志向する社会科学習によって、「国際社会に生きる民主的・平和的な社会の形成者として必要な公民的資質の基礎」を育成していくことになると思う。

2 研究のねらい

個に応じた学習の場を設定し思考過程の工夫を通して、一人一人の社会的なものの見方や考え方を生かし、未来に生きる力を育てる社会科学習の在り方を明らかにする。

3 研究の仮説

- (1) それぞれの学習過程に思考過程を設定して、子供一人一人の思考の様子を把握して自分なりの考えをもてるように支援すれば、子供一人一人が社会的な事象に対する見方や考え方を生かして、未来社会を志向し生きる力となっていくであろう。
- (2) 個に応じた調べ学習の場を設定し、子供一人一人の事実認識が明確になるようにすれば、子供一人一人が社会的な事象に対する確かな見方や考え方を基に、未来社会を志向し、生きる力となっていくであろう。

4 研究の内容

(1) 学習過程の工夫

「とらえる→たてる→調べる→まとめる→ひろげる」という児童生徒の思いや願いを生かすような問題解決型の学習過程を基本型とし、多様な学習活動の場や思考の場を設け、一人一人の生徒の社会的なものの見方や考え方を育てることができるようにした。

[学習過程の基本型]

| 学習過程 | | 子供の主な活動 |
|------|----------|--|
| つかむ | 課題認識 | ◎ 資料(事象)に興味・関心をもち、課題・問題をつかむ。 ・資料をもとに学習内容を概観したり、イメージ化を図ったりする。 ・社会的な事象や学習内容に興味・関心をもち、自分なりの問いをもつ。 |
| たてる | 予想 | ◎ 調べ問題を作り、予想をたて、解決の手順を考える。 ・問いを基に調べ問題を作り、一人調べの計画を立てる。 ・調べる事柄や問いを選択し、表現方法を考え、学習の見通しをもつ。 |
| 調べる | 事実認識 | ◎ 体験的活動や効果的な資料の活用を通して調べる。 ・子供が自分なりの計画で調べ、事実を自分なりの方法(新聞・パンフレット・絵本・紙芝居)などで表現する。 |
| まとめる | 整理 | ◎ 発表を聞き、個々(グループ)で調べた事柄をまとめる。 ・同じ内容を調べた中の代表が、調べたことを発表する。発表内容は印刷して全員に配布し、発表に質問や付け足しをしてまとめる。 |
| ひろげる | 深化 追究 | ◎ 新たな学習問題や課題を見だし追究をして、深める。 ・事実から学習問題を見だし、未来社会に向けての問題の解決策や改善策等も視野に入れて追究するようにする。 |
| ひろげる | 転移 発展 | ◎ 学習成果を実際の生活に広げ、生きる力につなげるようにする。 ・調べた成果をディベートやプレゼンテーションで発表し、社会的なものの見方や考え方を広げるようにする。 ・ここで培った見方や考え方を地域社会に転移したり、発信したりして生きる力として身に付くようにする。 |

(2)「生きる力」としての社会的なものの見方や考え方を身に付けさせるための手立て及び工夫
北俊夫は、「次のような社会的なものの見方や考え方ができるようになることが社会的事象に主体的にかかわることであり学ぶ力や生きる力を獲得していることであると思う。」として、次の十項目をあげている²⁾。

- ① 事実に基づいて見たり考えたりすること。
- ② 社会的事象に対して、自分なりに解釈(意味付け)して見たり考えたりすること。
- ③ 複数の社会的な事実を一般化したり抽象化したりして見たり考えたりすること。
- ④ 社会的事象を多面的にとらえること。
- ⑤ 社会的事象を公正に見たり考えたりすること。
- ⑥ 社会的事象を比較・関連・統合して見たり考えたりすること。
- ⑦ 社会的事象を時間の経緯のなかで見たり考えたりすること。
- ⑧ 社会的事象を空間的な広がりの中で見たり考えたりすること。
- ⑨ 社会的事象を自分の生活や自分自身とのかかわりで見たり考えたりすること。
- ⑩ 事実や解釈の限界性を意識して見たり考えたりすること。

このような社会的なものの見方や考え方を子供一人一人に身に付けるようにするためには、次のような手立てや工夫が必要となる。

ア 思考の過程を6段階とし、学習が進むにつれて考え方が深まるようにする。

イ 思考の過程の6段階ごとに評価し、それを基に見方や考え方が身に付いていくように支援する。

[思考過程の6段階]

| | 考える力 | 予想される思考の働き |
|------|--------------------------|---|
| 発見 | ○問いや調べ問題を見付ける力 | ・生活経験を活用して、学習の関連で問題意識をもつようにする。 ・これまで学習してきた共通的な知識や経験にそって、見いだした調べ問題に興味を喚起し、自分の学習課題を明確にする。 |
| 予想 | ○社会的事象の全体的傾向を類推する力 | ・経験による判断や既習事項からの類推によって、解決の糸口を探り、条件や関連や原因など自分なりの直感的な思考をする。 ・調べ問題や課題に対して、自分なりに解決の見通しをたてる。 |
| 事実認識 | ○社会的事象を資料によって調べその意味に気付く力 | ・既習の学習や生活体験と比較したり、検討したりして考える。 ・体験的活動や資料の検討などを通して、事象の意味に気付く。 ・図式的・数量的な資料などを基にして、思考をする。 ・社会的事象に対して、肯定的あるいは批判的な思考をする。 |
| 整理 | ○社会的事象と社会的事象の意味を関連的に考える力 | ・事象と事象との意味を関連的にとらえ、総合的に整理する。 ・他の事象の知識や情報を基に、自分の調べた事象との関係を把握し、事象の意味を総合的にとらえる。 ・資料に基づく思考の結果を事象と関連づけて思考する。 |
| 深化 | ○社会的事象の意味を論理的に考える力 | ・学習問題について、獲得した知識・理解を整理して思考する。 ・集団思考の場において、考えを論理的に関連的に整理しながら社会的事象の意味を追究して自分の考えを深める。 |
| 発展 | ○社会的事象の意味を判断し、転移・発展していく力 | ・獲得した多様な思考を、自分とのかかわりで整理し、生きる力につなげていけるようにする。 ・これまでの学習を総合的に判断し、広い視野から社会的事象の意味を考え、それを転移・発展できるようにする。 |

ウ 子供の発達に応じて段階を踏んで指導し、折りに触れて子供の学習活動に組み入れていくようにする。

エ 社会的なものの見方や考え方を具体的にとらえ、指導の場や機会を意図的につくるようにする。

オ 子供一人一人に何を考えさせるのか考える中味を明確にする。

カ 課題や問題に対して自分なりの見方や考え方をもちそのよさを味わえるようにする。

キ 比較したり、関連付けて考えたりする思考の仕方を身に付けるようにする。

ク 子供一人一人の見方や考え方を把握し討論やディベート的話し合いで深められるようにする。

(3) 評価及び支援の工夫

ア 子供一人一人の活動の場に対応して評価の場を設け、1～2つの観点に絞って適切に評価する。

イ 子供の学習状況や評価（評価規準による評価・自己評価・相互評価など）を通して、子供一人一人が自分の思いや願いを生かした主体的な学習活動ができるように適切な支援を行っていくようにする。

ウ 自己評価は、1単位時間ごとに毎時間行うようにする。評価項目は、評価規準の項目に即して作り、自己目標も授業の最初に書いておくようにし、後で振り返りができるようにする。

(4) 社会的なものの見方や考え方を育てるための資料開発・提示の工夫

資料の内容や提示の仕方は、学習の各過程ごとに異なってくる。

ア とらえる・たてる段階

事実がよく認識でき、今後の学習に多面的な関連や発展性のある資料を開発・提示をする。

また子供に驚きや固定観念のくつがえしや葛藤を起こさせ、問いを引き出すような資料開発・提示の工夫をする。

イ 調べる段階

社会的事実を正確にとらえるために、見学の仕方の工夫や多様な資料の開発・提示をする。

社会的意味をとらえさせるために、子供の思考を助ける資料を開発・提示する。

ウ まとめる段階

子供が調べた事柄を資料としたり、補足資料の開発・提示をする。

エ ひろげる段階

社会的意味をより深めるための補充資料の開発・提示をする。

(5) 個を生かす指導の工夫

ア とらえる段階

前単元の学習の様子や見方や考え方及び単元に入る前のアンケートを活用して、一人一人が問いをもてるように支援していくようにする。

イ たてる段階

一人一人の問いを取り上げ、学習計画の中に位置付けるようにする。

調べる順序や内容などの学習計画を子供にたてさせるようにする。

単元によっては、調べる内容を複線化して、事実を精選して調べるができるように計画する。

ウ 調べる段階

子供一人一人が主体的に調べることができるように、学習の場を設定する。

一人一人の調べの状況を活動の様子や自己評価などから把握し、資料や調べ方などについて支援していくようにする。

一人一人の調べた感想や考え、疑問などを自己評価などから把握し、その考えを話し合いに生かせるように支援していくようにする。

エ まとめの段階

子供一人一人がその子なりの表現方法でまとめるようにする。その際、調べた事実に対する感想や考え方を入れるように支援していくようにする。

ディベート的な話し合いの論題を子供たちの考えや感想をもとに、未来社会を志向できるような設定にし、その論題について子供一人一人の考えを把握しておくようにする。

オ 深める・ひろげる段階

ディベート的な話し合いやプレゼンテーション等を通して、自分なりの見方や考え方を広めたり深めたりできるようにする。

未来社会を志向していくことで、自分なりの判断をもって社会を見ることができ将来の自分の生き方に役立てることができるようにする。

5 中学1年 地理的分野 「中国」の実践

(1) 単元について

本単元では、中国の人々の生活、発達する工業、農業、人口増などの地理的現象を調べることを通して、中国の特色を捉えることができるようにするとともに、そこから近未来社会において、中国がよりよく発展していくために、解決していかなければならない諸問題の対策を考えていくことができるようにすることがねらいである。

これまでに生徒たちは、EU（ヨーロッパ連合）の学習においても、未来志向的な社会科学習に取り組んできた。それは自ら見いだしたり選択したりした課題を、多様な方法で調べ、調べた事実に対する自分なりの見方や考え方をもとにディベート的な話し合いを行って、最終的にEUの未来像を自分なりに見いだしていこうとするものであった。

このような単元のねらいや学習経験をふまえて、この単元における未来に生きる力を育てるために、次の6点を重視して取り組むことにしたのである。

ア 生徒一人一人の見方や考え方を捉える。

1時間ごとの自己評価カードや6段階の思考過程における思考の様子などからとらえるようにする。

イ 図書室・コンピュータ室の活用を図る。

主体的な調べ活動ができるように、次のような場と資料を活用するようにした。図書室（参考図書、VTR）、コンピュータ室、教室（新聞記事）などである。

ウ ディベートの論題を選択する。

中国の未来社会について考えることができるように、ディベートの論題をいくつかのなかからアンケートで決めるようにする。

エ アフターディベートの場で、真の課題を追究する。

昨年の実践では、ディベート後に「中国政府は今後何に取り組めばよいか。」を書かせて終わりにしていた。そこで、今年度は中国の現状を調べた事実やディベートから、中国が発展していくための問題を見だし、その対策を考えるようにする。

オ ティームティーチングを行い、主体的な課題解決を促し、見方や考え方を深めるようにする。アフターディベートの場で、真の課題を追究するために必要な資料の収集における支援を行うようにする。

カ プレゼンテーションの形態を取り入れた学習のまとめをする。

中国が発展していくための問題（真の課題）をグループで追究し、それをプレゼンテーションの形態（出店型発表形式）で行い、中国が発展していくための問題を広い視野から捉え、多面的な見方や考え方ができるようにする。

(2) 単元の目標 (B目標)

関 中国の現状や未来社会に興味を持ち、進んで中国の人々の生活や経済の仕組みを調べ、発展しつつある中国の問題点に気付こうとする。

思 中国の未来の姿を予想し、現状を調べ、日米と比べることなどを通して、発展しつつある中国の問題点に対する対策に気付くことができる。

資 課題に合った資料を選択し活用してまとめたりする活動を通して、発展しつつある中国の問題点に気付くことができる。

知 中国の人々の生活や経済の仕組みなどの現状を理解するとともに、発展しつつある中国の問題点に対する対策を日米と比べることを通して理解できる。

(3) 観点別目標 (B目標)

| | 観 点 別 学 習 状 況 目 標 |
|---------------------------------|---|
| 関 心 意 欲 態 度 | ① VTRなどから中国の様子に興味をもち、進んで中国の現状をとらえ、課題を見いだそうとする。 ② 中国の現状から、未来の姿を予想し、課題を考えたり選択したりして学習計画をたてようとする。 ③ 中国やその未来の姿に興味をもち、進んで自分なりの方法で課題を調べ、表現しようとする。 ④ 調べた内容について情報交換を行い、進んで補足や質問をしたり、調べたりしてまとめようとする。 ⑤ 中国の未来について、進んで話合いに参加し、中国の未来への対策を自分なりに見いだそうとする。 ⑥ 中国が未来社会において、先進国になるための必要なことを進んで考えようとする。 |
| 社 会 的 思 考 判 断 | ① VTRなどから中国の現在の様子をとりえ、中国の印象をもち、課題を見いだすことができる。 ② 中国の現状をふまえて、未来社会の姿を予想し、課題を考えたり選択したりすることができる。 ③ 選択した課題について調べ、その内容について自分なりの感想や考えをもつことができる。 ④ 調べた内容を情報交換し、他の事実と比べて、中国の未来社会を考えることができる。 ⑤ 中国の未来社会について自分なりの考えをもってディベート的な話合いに参加し、それらを通して中国が未来社会において発展するための課題を自分なりに見いだすことができる。 ⑥ 中国が未来社会において発展するための課題について必要なことを考えることができる。 |
| 観 ・ 資 ・ 表 | ① 中国のVTRから、現在の中国の様子のメモや自分なりの中国の印象などを書くことができる。 ② 自分なりの計画や方法で資料を選択して調べ、中国の現状を工夫して表現することができる。 ③ 調べた内容について情報交換を行い、補足したり調べたりして中国の現状をまとめることができる。 ④ ディベート的な話合いに参加し、自分なりの考えと他の考えを比べながら聞くことができる。 ⑤ 中国が未来社会において発展するために、必要なことを考え、まとめることができる。 |
| 知 ・ 理 | ① VTRなどから中国の現在の様子を概観し、自分なりの印象をもつことができる。 ② 学習問題や選択した課題をとらえる調べを通して、中国の現状を理解することができる。 ③ 調べた内容について情報交換し、他の事実と比べて、中国の現状を理解することができる。 ④ 中国が未来社会において発展するために、必要なことを理解することができたか。 |

(4) 「考える力 (社会的思考・判断)」の思考過程と評価

| | 評価規準 | A 評価項目 | B 評価項目 | 思考への支援 |
|------|--|---|--|--|
| 課題認識 | ① VTRなどの中国の現在の様子から、課題を見いだすことができる。 | ○ 中国の現在の様子をとらえ、中国の印象を日本との比較・関連を通してもつことができる。 ○ 工業、農業、人口などを踏まえた総合的な課題を見いだせる。 | ○ 中国の現在の様子から中国の印象をもつことができる。 ○ 工業、農業、人口などの課題を見いだせる。 | ・自分が最初にもっていた中国の印象とVTR視聴後の印象の相違やとらえた事実などから課題を見いだすことができるように支援する。 |
| 予想 | ② 中国の現状をふまえて、未来社会の姿を予想し、課題を考えたり選択したりすることができる。 | ○ 中国の現状を的確にふまえて、50年後の中国が日本を追い越しているかどうかを自分なりの根拠をもって予想することができる。 | ○ 中国の現状をふまえて50年後の中国が日本を追い越しているかどうかを予想することができる。 | ・50年後の中国が日本を追い越しているかどうかを予想できるように前時のVTRから想起したり、友達と相談したりする場を設けたりして支援していきたい。 |
| 事実認識 | ③ 選択した課題をとらえて調べ課題に関連して自分なりの感想や考えをもつことができる。 | ○ 事実を的確に調べている。 ○ 調べたことへの考えや感想が的確である。 ○ 50年後の中国の予想と関連して課題を調べている。 | ○ 事実をよく調べている。 ○ 調べたことへの感想がよく書けている。 ○ 50年後の中国の予想から課題を調べている。 | ・自己評価カードに感想などを書く欄を設け、一時間ごとに書くように助言していきたい。 ・調べの状況を把握し、適切な調べができるように支援したい。 |
| 整理 | ④ 調べた内容を情報交換し、他の事実と比較・関連して中国の未来社会を考えることができる。 | ○ 自分の調べた事実と他の事実とを比較・関連して、総合的に中国の現状をとらえている。 ○ 中国が50年後に日本を追い越しているかを現状を踏まえて考えられる。 | ○ 自分の調べた事実と他の事実とを比べて、中国の現状をとらえている。 ○ 中国が50年後に日本を追い越しているかどうかを考えられる。 | ・自分の調べた内容との関連を図って、中国の現状をとらえ、それをもとに中国が50年後に日本を追い越しているかどうかを考えるように支援する。 |
| 深化 | ⑤ 中国の未来社会について自分なりの考えをもってディベート的な話し合いに参加し、それを通して、中国が未来社会において発展するための課題を自分なりに見いだすことができる。 | ○ ディベート的な話し合いの内容を生かし、中国が未来社会において発展するための課題を自分なりに見いだすことができる。 ・食糧問題をどう解決するのか。 ・工業発展にともなう問題をどう解決するのか。(公害、水、土地) ・交通の整備をどう進めるのか。 | ○ 中国が未来社会において発展するための課題をディベート的な話し合いから自分なりに見いだすことができる。 ・農業をさかんにするためどうするか。 ・工業をさかんにするためにどうするか。 ・交通をよくするには。 | ・2人の教師で、賛成派や反対派の生徒一人一人がどんな考えを持っているか、事前に把握しておき、発言を促すように支援する。 ・中国が未来社会において、発展するための課題を見いだせるように話し合いを始める前に事前に話しておくようにする。 |
| 発展 | ⑥ 中国が未来社会において発展するための対策について考えることができる。 | ○ 自分なりに中国が発展するための課題を的確にとらえ、その必要な条件や対策を考えられる。 | ○ 自分なりに中国が発展するための課題について必要なことを考えられる。 | ・課題について考えられるように、これまでの調べやまとめ、話し合いを総合するように支援する。 |

(5) 指導・評価計画 (10時間取り扱い)

| 学習内容 | 時 | 子供の活動及び反応 | 評価の方法 | 活動への支援 |
|-----------------------------|---|--|--|---|
| 1 中国について概観し、課題を見いだすことができる。 | 1 | <p>現在の中国の様子をつかもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国のVTRを視聴する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの中国の印象をとらえる。 ・VTRなどから、中国の現在の様子から課題を見いだすようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・VTRから中国の現状をとらえ、自分なりの印象をもって、課題を見いだすことができたか、中国の印象や課題の内容から評価する。(関・思・資・理-①) | <ul style="list-style-type: none"> ・課題が見いだせるように、中国のVTRからメモを取り、そのメモや自分なりの印象を課題づくりに生かすように支援する。 |
| 2 未来社会の姿を予想し、課題を選択することができる。 | 1 | <p>中国の未来社会を予想しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国が50年後日本を追い越しているかどうかVTRなどを参考に予想する。 ○ 予想を基に自分なりの学習計画をたてる。 <ul style="list-style-type: none"> ・見いだしたり選択したりした課題を学習計画に位置付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中国が50年後、日本を追い越しているかどうかVTRなどを参考に予想できたかその内容から評価する。(関・思-②) | <ul style="list-style-type: none"> ・50年後の中国の様子を予想できるようにVTRのメモを参考にしたり、相談し合ったりするように支援する。 |
| 3 課題について調べる。 | 3 | <p>中国の現状を調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の学習計画にしたがって、課題を調べるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ室、教室、図書室などを調べる場とし、コンピュータ、参考図書、新聞、VTRなどを使って、調べ学習ができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・選択した課題や自分なりの課題を調べ、工夫して表現しながら、中国の現状について理解することができたか、ノートの内容から評価する。(関・思-③)(資・理-②) | <ul style="list-style-type: none"> ・調べの状況を把握し、中国の現状を的確にとらえられるように支援する。 ・コンピュータを使っている調べ活動が円滑に進むように操作に関して支援をするようにする。 |
| 4 情報交換をする。 | 2 | <p>中国の現状についてまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が調べた以外の課題を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べた以外の課題について、他のグループの調べた資料をもとにまとめることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・調べた内容の情報交換し、さらにそれ以外の内容をまとめることができたか、ノートから評価する。(関・思-④)(資・理-③) | <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換では発表から自分の調べを補うように支援し他のグループの調べの内容もとらえられるように助言する。 |
| 5 話し合いをする。 | 1 | <p>中国は、50年後今の日本と同じくらい発展している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ディベート的な話し合いをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ディベート的な話し合いを通して、50年後の中国の姿をとらえ、発展していくための課題を挙げるができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ディベート的な話し合いから、発展していくための課題を挙げることができたかプリントから評価する。(関・思-⑤)(資-④) | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの活発化を図り、多面的な見方・考え方ができるように、TT方式を用いて支援していきたい。 |
| 6 中国が先進国となるための方策を自分なりに考える。 | 2 | <p>中国が発展するための対策を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国が発展するための対策について、考えることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの学習形態から、日米の関連をふまえて考えるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日米関連をふまえて中国が発展するための対策を考えることができたか、プリントから評価する。(関・思-⑥)(資-⑤・理-④) | <ul style="list-style-type: none"> ・発展するための中国の課題の発表などを参考にして、自分なりの対策が考えられるように支援していくようにする。 |

(6) 本単元の「考える力」の思考過程における児童の反応及び評価

① 課題認識(発見)の過程

| | |
|--|-----------------------------------|
| ○評価規準(B規準) VTR, 写真などから中国の現在の様子を捉え, そこから自分なりの課題を見いだすことができる。 | |
| [A傾向] 中国の現在の様子を捉え中国の印象を日本との比較・関連を通してもつことができる。 | [B傾向] 中国の現在の様子から, 中国の印象をもつことができる。 |
| ○工業, 農業, 人口などをふまえた総合的な課題を見いだせる。 | ○工業, 農業, 人口などの課題を見いだせる。 |

↓

↓

自分が最初にもっていた中国の印象とVTR視聴後の印象の相違や捉え方などから課題を見いだすことができるように支援する。

[VTR視聴後の印象]

↓

↓

| | |
|---|--|
| [A傾向] 子供を一人以上産んだら罰金なんて驚いた。電化製品が高い。農地が狭い。 36% | [B傾向] 中国は人口が多い。上海も人口が多いので, 部屋の狭い住宅で悩んでいる。 46% |
|---|--|

[その他の見方や考え方]

・市と村の差が大きい。・夫が家事をする。・人口が多い。・自転車が多い。

[見いだされた課題]

↓

↓

| | |
|----------------------------|-------------------------|
| [A傾向] 社会問題の解決策を調べる。 36% | [B傾向] 中国の農業と工業を調べる。 44% |
| [その他の見方や考え方]・中国の生活。・中国の人口。 | |

↓

② 予想の過程

| | |
|--|--|
| ○評価規準(B規準) 中国の現状をふまえて, 未来社会の姿を予想し, 課題を考えたり選択したりすることができる。 | |
| [A評価項目] 中国の現状を的確にふまえて, 50年後の中国が日本を追い越しているかどうかを自分なりの根拠をもって予想することができる。 | [B評価項目] 中国の現状をふまえて50年後の中国が日本を追い越しているかどうかを予想することができる。 |

↓

↓

50年後の中国が日本を追い越しているかどうかを予想できるように, 前時のVTRから想起させたり, 友達と相談したりする場を設けたりして支援する。

↓

↓

| | |
|--|---|
| [A傾向] 一人っ子政策が続けば人口も減るし, 農家の人も工場で働けるようになるので, 豊かになっている。 29% | [B傾向] ビデオを見て日本に近付いていると思った。日本より発展するのは難しい。 53% |
|--|---|

[その他の見方や考え方]

・他国の真似をすれば追い付くと思う。・人口が増えている。
・一人っ子政策では甘えた子が増えてしまうと思う。

↓

③④ 事実認識及び整理の過程

○評価規準（B規準）選択した課題や自分の課題を捉えて調べ、調べたことに関して自分なりの感想や考えをもつことができる。
調べた内容を情報交換し、他の事実と比較・関連して中国の未来社会を考えることができる。

| | |
|---|---|
| <p>[A評価項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事実を的確に調べている。 ○調べたことへの考えや感想が的確である。 ○50年後の中国の予想と関連して課題をよく調べている。 ○自分の調べた事実と他の事実とを比較・関連して、総合的に中国の現状を捉えている。 ○中国が50年後に日本を追い越しているかを現状をふまえて考えられる。 | <p>[B評価項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事実をよく調べている。 ○調べたことへの感想がよく書けている。 ○50年後の中国の予想から課題を調べている。 ○自分の調べた事実と他の事実とを比べて中国の現状を捉えている。 ○中国が50年後に日本を追い越しているかどうかを考えられる。 |
|---|---|

↓ ↓

コンピュータや資料集、教科書やVTRなどで調べている生徒には、課題に関連した新聞記事や統計資料などを提供して、事実を的確に捉えるように支援する。
中国の工業、農業、生活について、調べた項目ごとに集まり、調べた情報を交換し合って作った資料を、一人一人に印刷して配り、自分の調べていない項目をそれを使って調べ補うように支援する。

↓ ↓

| | |
|--|---|
| <p>[A傾向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業化が進めば世界最大の工業国になると思うが、食糧不足の問題がある。 ・工業生産を伸ばせば耕地が減ってしまうのではないか。 43% | <p>[B傾向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物で世界一というのが多かった。 ・人口増加のために食糧不足だ。 ・一人っ子政策はヤミっ子の問題がある。 43% |
| <p>[その他の見方や考え方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染で多くの死者がでている。・経済特区や合併企業がある。 ・交通事故死亡者が車の少ない北京に多い。 | |

⑤ 深化の過程

○評価規準（B規準）中国の未来社会について自分なりの考えをもってディベート的な話し合いに参加し、それを通して中国が未来社会において発展するための課題を自分なりに見いだすことができる。

| | |
|---|---|
| <p>[A評価項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ディベート的な話し合いの内容を生かし中国が未来社会において、発展するための課題を自分なりに見いだすことができる。 ・食糧問題をどう解決するのか。 ・工業発展に伴う問題をどう解決するのか。(公害、水、土地) ・交通の整備をどう進めるのか。 | <p>[B評価項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中国が未来社会において発展するための課題をディベート的な話し合いから自分なりに見いだすことができる。 ・農業をさかんにするためどうするか。 ・工業をさかんにするためにどうするか。 ・交通をよくするにはどうしていったらよいか。 |
|---|---|

↓ ↓

ディベート的な話し合いの論題については、3つの論題について自分の考えを書かせてみた。そして、一番意見の多かった「中国は、50年後、今の日本と同じくらい発展している。」という論題にして、再び話し合いをする前時に生徒一人一人の考えを把握し、発言を促すように支援する。
中国が未来社会に向けて発展していくための課題を見いだせるように、話し合いを始める前に話しておくようにする。

| | |
|---|--|
| <p>[A傾向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業力はあるが人口増加や食糧不足の問題がある。 ・都市と農村の教育の差がありすぎる。 ・工業が発展すれば、環境問題が起こる。 | <p>[B傾向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国人の多さを利用して農業に力を入れる。 ・昔の日本を考えれば今の中国もだんだん裕福になってきている。 47% |
| <p>[その他の見方や考え方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水不足で大きなダムを造っても家や土地を失うという問題がある。 ・開墾して灌漑設備を全国に設ける。 ・進んだ技術を取り入れる。 | |

⑥ 発展の過程

| | |
|---|--|
| <p>※この段階では、「中国が発展していくために解決していかなければならない問題は何だろう。」と問い掛け、「環境問題」「食糧問題」「交通問題」「人口問題」「電気製品の問題」の5つが出された。この問題の中から自分の追究したい問題を1つ選んで、その現状を調べ直し対策を考えていくようにした。この学習場面では短時間で調べることができるようにした。コンピュータを使った資料づくりは教務主任、教室での新聞記事の提供、図書室の資料提供は私という役割分担をして、チームティーチングの形態をとって、生徒の資料収集等の要望に応えるようにした。各問題ごとに調べたデータをもとに対策を考え、それを模造紙に書いてまとめ、プレゼンテーションの形態で、自分が調べた以外の問題にも視野を広げていくことができるように配慮した。</p> | |
| <p>○評価規準 (B規準) 中国が未来社会において発展するための対策について考え、プレゼンテーションを通して、他のグループの生徒に説明をしたり、説明を聞きに行ったりして、中国の未来に向けての問題点とその対策に気付くことができる。</p> | |
| <p>[A評価項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分なりに中国が発展するための課題を的確にとらえ、その必要な条件や対策を考えられる。 ○他の問題とその対策について説明を聞き、総合的な視野にたって中国発展の課題を考えることができる。 | <p>[B評価項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分なりに中国が発展するための課題について、必要なことを考えられる。 ○他の問題とその対策について説明を聞き、総合的な視野にたって中国発展の課題を考えることができる。 |

多面的な見方で問題とその対策が捉えられるように、生徒の資料収集を支援するためにチームティーチングを行った。プレゼンテーションでは、中国発展の課題を多面的に捉えることができるように、できるだけ多くのコーナーを回って説明を聞くように助言した。

| | |
|--|---|
| <p>[A傾向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方の町や村に郷鎮企業をつくり、農民が兼業農家になれば、学校に行ける子どもも多くなる。 ・大気汚染の原因となる二酸化硫黄を減らす努力をされるといいと思う。 32% | <p>[B傾向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業に力を入れて機械を増やしていくようにする。 ・農村の人たちにも、一人っ子政策に協力してもらおう。 ・土地を開墾して作物が多くとれるように工夫する。 40% |
| <p>○その他の見方や考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道や高速道路を増やすようにする。 ・電気製品は大量生産をして値段を安くする。 ・工場の排水をきれいな水にして流すような施設をつくれればいいと思う。 | |

土橋：社会科学習の在り方

中国における見方・考え方①

| 生徒 | ビデオ視聴後の感想及び中国の印象 | 調べてみたいこと | 予想 中国は50年後日本より豊かで発展している |
|----|---------------------------------------|------------------|--|
| 1 | 中国もだんだん機械化してきた。日本の生活よりも少しづつらそうだった。 | 上海の農業、工業気温 | NO 今も日本の方が発展しているので、きっとこのまま日本の方が発展していると思う。 |
| 2 | 物の値段に違いがあり、電化製品が高い。農地が狭い。人口が大きな問題。 | 中国の課題と今後中国の生活 | NO 中国は、日本より物の値段がとて高いし、土地も狭いので、あまり発展しないような気がする。 |
| 3 | だんだんと機械を使うようになってきて暮らしが楽になってきた。 | 中国の農業 | NO 中国はいろんな問題を抱えている。これを解決すれば発展するだろうが、日本も発展し続けるから |
| 4 | 人口が多いので、子供は一人だけ。 | 中国の工業 | NO 電化製品や自動車などがすごく高いし、社会問題だってあるからそれを解決しないと追い付かない |
| 5 | 日本より文化が進んでいると思ったけれど中国の方が生活が苦しい。人口が多い | 中国の生活 | NO 50年後中国もそれなりに発展していると思うけど、日本もその分発展していると思う。 |
| 6 | 中国の生活は日本よりおけているが、上海は日本と変わらないと思った。 | 中国の気候 | NO 50年たって中国が発展していったって、日本の方がより発展しているんじゃないかと思う。 |
| 7 | 自転車がが多い。 | 中国の生活 | NO 中国は50年後人口がふえて住みずらくなるし、若い人は他の国へ行ってしまいうような気がする。 |
| 8 | 昔は中国の方が進んでいたのに、いつ頃から日本に遅れたのだろうか。 | 社会問題の解決策なぜ自転車通勤か | NO 50年後、中国は発展していると思うが、日本も50年たっているのだから発展をとげているはず。 |
| 9 | 一人っ子政策はかわいそうだけど仕方がない。電化製品が給料2ヵ月分は高い。 | 中国の人口増加以外の悩み | NO いくら中国が発展して日本に追い付こうとしても、日本がつきまはなしてしまうと思う。 |
| 10 | 市と村の差が激しいところもある。人口増加をおさえる必要がある。 | 都市と農村の生活 | NO 中国は人口がふえすぎて仕事や住む家がなくなり、反対に貧しくなってしまうと思う。 |
| 11 | 自転車がが多い。 | 中国の生活 | NO 50年後も中国より日本の方が発展している。 |
| 12 | 中国は日本と比べて、自転車がが多く、少しおけているなど思った。 | 中国のいろいろな文化や生活 | NO 中国は人々がいろいろと広がったほうが発展すると思う。でも日本はそれ以上に発展している。 |
| 13 | 人口が多く、1件の家に2～3世帯の人が住んでいる。 | 中国の農業 | NO 中国が発展していったって、日本も発展していくのだから、日本には追い付けないと思う。 |
| 14 | 日本は車が多いけど、中国は自転車がが多いことが不思議に思った。 | 中国の食物や衣装 | NO 日本と比べると中国は自転車で通勤している人が多いので、日本を追い越せないだろう。 |
| 15 | 中国は人口が多い。上海も人口が多いので住宅に悩んでいる。 | 農業で一番なのは何か | NO 中国は50年後人口がふえて住宅地に困っているように思うので、豊かとはいえないと思う。 |
| 16 | 農業、工業、商業が発達していた。夫が家事をするのはびっくりした。 | 中国の農業、工業商業 | NO 日本が今しているいろいろな研究が50年後に成果がでてくる。中国は昔の子がふえてしまうかも。 |
| 17 | 部屋が狭く一人っ子の家庭が多い。政府のつくった制度で問題が起きている。 | 農村の生活の変化中国の商業、工業 | NO 今の中国は昔より発展しているけれど、問題がでてきているので、発展しづらいように思います。 |
| 18 | 人口がすごく多いのでびっくりした。 | 中国の工業、農業生活（電化製品） | YES 電化製品も自分たちの暮らしの中で買えるようになってきているので、豊かになっていると思う。 |
| 19 | 中国の道路には自転車があふれていて迷惑ではないのだろうか。 | 中国の生活、人口 | NO 今自転車が中国の乗り物として一番なら、これからはもっと自転車を利用するのではないか。 |
| 20 | 子供を一人以上生んだら罰金なんて聞いた。家族で協力して生活している。 | 生産責任制や自由市場について | YES ビデオを見て日本の生活に近づいていると思った。50年後は日本を追い越していると思う。 |
| 21 | 中国には厳しい政策がある。中国はあまり肉や魚を食べられないのかわいそう。 | 中国の工業、農業生活 | NO 日本の方が50年後は発展すると思う。 |
| 22 | けっこう豊かなところがあった。子供が2人だと罰金は厳しい。 | 日本の市町村の様子や違い | NO 電化製品は値段が高いし、自転車通勤でもあるので、一生涯発展しようと思わないかぎり難しい。 |
| 23 | 1件に2～3世帯が暮らしている。中国はあまり肉や魚を食べない。 | 中国の生活 | NO 50年たてば日本は今よりずっと発展して、中国が真似できなくなる。 |
| 24 | 昔より今のほうが、肉や魚が食べられるようになった。 | 中国の文化や生活 | NO 中国は50年後今の日本みたいになっているけど日本は今の日本より発展していると思う。 |
| 25 | 思ったより中国が豊かだったこと。子供は一人しか生めないことにびっくり | 中国の産業、中国の文化 | NO 今よりは少しは豊かになっていると思うけれど、日本よりは豊かにならないと思う。 |
| 26 | 子供を2人以上生むと罰金なんていうのは、絶対おかしいと思う。 | 大きく発展した上海の社会問題 | NO 中国にはたくさん社会問題がでている。これを解決しないかぎり日本より発展するのは難しい。 |
| 27 | 一人っ子政策で両親が共働きだと、淋しい思いをして育っているんだなと思った。 | 農家の生活と働いている時間 | YES 一人っ子政策が続けば人口も減るし、農家の人も工場に働くようになったので豊かになっている。 |
| 28 | 中国は人口も多く、自転車も多い。 | 中国の農業 | YES 日本が他の国を真似て追い付いたので、中国も同じようにすれば、豊かになっていると思う。 |

中国における見方・考え方②

| 生徒 | 中国について調べた感想, 50年後の中国日本を追い越すか | 中国は, 50年後日本と同じくらい発展している |
|----|---|---|
| 1 | いろいろな問題が多く, 生活も大変そうである。中国も日本と同じくらい発展していると思う。 | YES きっと中国も日本と同じようにいろいろな問題を解決して発展していると思う。 |
| 2 | 中国では電気製品が高いので生活は不便だと思った。交通手段も自転車が多い。中国が日本を追い越すのは難しい。 | NO 人口増加それに食糧不足などであまり発展しないと思う。 |
| 3 | 中国は日本より生活が豊かとはいえない。中国はそれなりの発達しているだろうけど日本ももっと発達している。 | YES 工業などが発達しているので, 中国は日本に追い付くのは可能かもしれない。 |
| 4 | 中国人の平均給料5500元は安すぎると思った。自動車や電気製品も高いし, 社会問題もあるから追い越せない。 | NO 食糧不足や社会問題, 給料が安い, 電気製品・自動車が安いという問題を解決しないかぎり無理だと思う。 |
| 5 | 工業がすごく発展して, 石炭産出量が93年に世界一になったんだからもしかしたら日本が追い越されるかもしれない。 | NO 一人っ子政策を行っているのに人口が減らないし2人からは罰金を取られるから, 追い越せないと思う。 |
| 6 | 中国は世界一の石炭産出国だった。以外に中国の工業は発達しているの, もしかしたら日本を追い越している。 | NO 工業力はあるが人口増加や食糧不足の問題があるので追い付くことは難しいと思う。 |
| 7 | 工業に力を入れず, 農業に力を入れれば, 食糧不足を少しでもなくせるような気がする。 | YES 人口さえ減れば食糧不足は解決する。そして工業に力を入れれば日本に近付ける気がする。 |
| 8 | 工業化が進めば, 世界最大の工業国になると思うが, 食糧不足の問題があり, 工業が発展することは難しい。 | NO 工業が発展すれば環境問題や社会問題が起こるし農業を発展させるほど農民が多くない。 |
| 9 | 人口増加の悩みはあるけど, 50年の間には解決していると思う。外国とかの真似をしながら追い付くと思う。 | NO 一人っ子政策も人口が減らず, 中国は食糧不足なので工業より農業に力を入れるべきである。 |
| 10 | 一人っ子政策によるヤミツツの問題を解決しなければ, 豊かな中国にはならないと思う。 | NO 人口問題はおさまらず, 都市と農村の教育の差がありすぎる。これを解決しないとイケない。 |
| 11 | 中国は世界一の石炭産出国で, 埋蔵量も多い。 | YES 中国は世界一の石炭産出国で, 埋蔵量も多いので発展すると思う。 |
| 12 | 日本の仕事をマスターしていけばどんどん発展していって日本と同じくらいになっていると思う。 | YES 食糧不足を解消し, 開墾して灌漑設備を全国に設け, 品種の改良や新しい技術の導入をすれば可能。 |
| 13 | 交通事故死亡者が車の少ない北京に多くて不思議だった。追い越せないと思うけど工業に力を入れるべきである。 | NO 穀物の約半分は輸入だし, 交通問題や環境問題もあるので, 解決するのに時間がかかる。 |
| 14 | 中国は人口が多いけど, 一人当たりの土地が狭いので暮らしていくと思う。 | NO 50年後の中国は人口が多くなり, 一人当たりの土地が狭くて, 自転車通勤の人もいると思う。 |
| 15 | 農業とサラリーマンでは月給に差がある。こうした問題や人口問題を解決しないと日本は追い越せない。 | NO 一人っ子政策をはじめたが減る気配もなく, 苦しい日々を送ることになると思う。 |
| 16 | 農産物は世界一というものが多かった。人口増加のために食糧不足なのがいへんそうです。 | NO いろいろな問題(食糧不足, 一人っ子政策, 電気製品の値段)などを解決しなければ発展できない。 |
| 17 | 問題がでないように工夫すれば, もっと中国は進歩するのではないかと思う。 | NO このまま発展していくと人口の問題や食糧の問題がでてきて発展のさまたげになるかもしれない。 |
| 18 | 電気製品もどんどんふえている。お金を稼いで土地を買って家を自分で作ってほしい。 | NO 一人っ子政策は人口や食糧の問題があるし, 環境問題も解決しないと日本と同じ発展はないと思う。 |
| 19 | 北部と南部では食べるものが違う。電気製品などが安くなると思う。中国も発展するが日本も発展すると思う。 | YES 50年もたてば一人っ子政策の効果があり, アメリカと同じぐらいの人口で, 店・工場が増えている。 |
| 20 | 中国の人は協力し合って家庭を支えている。大気汚染で多くの死亡者がでている。中国が進んだ技術を学んだらきっと日本を追い越すのではないか。 | YES 今の中国は30年ぐらい前の日本と同じなので, 進んだ文化を取り入れ, 50年たつうちには同じくらい発展し, どんどん新しい中国になっていると思う。 |
| 21 | 自転車で通勤している。中国は穀物が不足している。 | NO 人口が多くて穀物などの食糧が不足する可能性があるし, 工業や農業ももう少しだと思う。 |
| 22 | 食糧不足を直し, 一人っ子政策を少しずつなくす。工業に力を入れれば, 追い越せなくても追い付くかもしれない。 | YES もっと輸入を増やし, 自由市場を増やして農業や工業に力を入れてると, 今の日本ぐらいにはなれる。 |
| 23 | 中国がいろいろと工夫や真似をすれば追い越せるかもしれないけど, 経済的な問題があるかぎり不可能だと思う。 | NO 人口問題や住宅問題, 経済問題それと食糧問題を解決しないとイケないと思う。 |
| 24 | 中国は努力してだんだんよくなってきていることが感じられた。50年後中国は今の日本と同じくらいになっている。 | YES 今の中国は工業にも力をいれ, 肉も食べるようになったので今の日本に近づいてきていると感じた。 |
| 25 | 日本には一人っ子政策などがあり, 発展するとは思いますが日本は追い付けない。自動車や電気製品はなぜ高いのか。 | NO 食糧危機や大気汚染の問題があり, 水不足で大きなダムを造っても家や土地を失うという問題がある。 |
| 26 | 輸出を増やし外貨を得るための経済特区や外国企業と共同で会社をつくる合併などができているが追い越せない。 | NO 食糧や人口増加の問題などがあり, 汚染の問題も手が付けられないほどで解決していかないと感じる。 |
| 27 | 工業生産を伸ばせば耕地が減り, 農産物ができないので, 農業に力を入れれば日本を追い越せるかもしれない。 | YES 中国人の多さを利用して農業に力を入れ, 戦後50年で日本も発展したから頑張れば大丈夫だと思う。 |
| 28 | 中国では一軒の土地が少ない。日本のように他国の真似をして追い付くようにする。 | YES 昔の日本を考えれば中国もどんどん富裕になっているので, 日本に追い付き追い越している。 |

土橋：社会科学習の在り方

中国における見方・考え方③

| | |
|-----------|---|
| 生徒 | 中国が発展するために、中国政府の今後に政策について考えを述こう。 |
| 1 人口 | このまま人口が増え続けると中国の国上がもたなくなってしまうことをしっかりと国全体に知らせることが大切だと思う。きっと農民もわかって一人っ子政策を守ってくれると思う。そうすれば食糧問題も解決すると思う。 |
| 2 交通 | 環境問題では、いろいろな場所に浄水場をつくり、排水をきれいな水にかえていき、汚染をなくすには工場をぎりぎり必要なまで少なくしたりする対策をとる。 |
| 3 | これから暮らしが楽になるように工業に力を入れて、機械をどんどんいれていけばいいと思う。(I18) |
| 4 I18 | 工場をたてて大量生産をすれば、電気製品や自動車などが安くなるようにする。でも、工場を建てすぎると環境問題につながるので、問題が起こらない程度にたてた方がいいと思う。 |
| 5 環境 | 一人っ子政策をなくして、2人以上産まないように呼び掛ける。中国の大運河の汚染は、必要以上にひどい。工場を減らして、汚染の原因となる排水を少なくし、家庭からも汚い水を流さないように気をつけたいと思う。 |
| 6 環境 | 国民たちが幸せに生活できるように、環境や教育の問題を解決したほうがいいと思う。土壌汚染や水質汚染、大気汚染などの環境問題の対策を考えながら、工業にも力を入れていく。火力発電所から出る二酸化硫黄が日本より多く発生し、酸性雨や呼吸器系の病気の原因になっている。二酸化硫黄の量を減らすように努力する。 |
| 7 教育 | 上海などではパソコンを使った授業を取り入れるのに対し、農村部では学校に行けず字が読めない子も多い。農村部の子供たちが学校に行けて字が読めるように、政府が解決していくとよいと思う。 |
| 8 交通 | 工業製品の開発の仕方を換え、煙や悪臭、排水などを最小限におさえる。そうすれば、環境にも問題がないと思う。一人っ子政策を続け、人口が少なくなるのを待つ。そして農地があまってきたら、そこに工場を建てるようにする。 |
| 9 教育 | 交通問題では鉄道や高速道路を増やし、信号を多く付けて事故を防ぐようにする。むかし遅れていた日本は外国のやり方を取り入れて発展したのだから、議会を開いて国民の暮らしやすいように考えていく必要がある。 |
| 10 教育 | 農機具を安くして、農家に機械を導入して、子供に勉強を集中させる。そのために一人っ子政策を農村部にも守るように強く実施するようにしていくとよいと思う。 |
| 11 環境 | 世界一の石炭埋蔵量を生かして、火力発電所をつくり、工場ももっと増やして工業に力を入れていけばいいと思う。環境を大切にすすめていけばよいと思う。 |
| 12 交通 | 全国的に交通を発達させることが必要だと思う。食糧不足も解決していくことが大切だと思う。工業の方では、日本の技術や仕事をマスターして、公害がでないように開発していけばいいと思う。 |
| 13 交通 | 工業に力を入れて、自動車をもっとつくって輸出するようにすれば、発展すると思う。そして、東京都よりも車がはるかに少ないのに中国の方が交通事故死者が多いので、信号機を増やせばよいと思う。 |
| 14 人口 | 人口問題は2人目が生まれるとほぼ年収分の罰金とペナルティーが課せられる。農村部では一人っ子政策が徹底できない。人口を減らすことができるので、このまま一人っ子政策を続けた方がいいと思う。 |
| 15 人口 | 中国は人口が多いので、1人っ子政策を始めたが、農村の人たちは協力していない。国のために農村の人たちも協力してもらおうように政府がはたらきかければよいと思う。 |
| 16 食糧 | 人口が増えているので、食糧不足になっているので、食糧を増やせるようにたくさん収穫できる方法を考えたりして努力したり、人口が増えないように考えたほうがよいと思います。 |
| 17 食糧 | 熱さ寒さに強い野菜を品種改良して作ったり、砂漠などを開発して畑にしたり、温室などを作って栽培したりするなど、農地を有効に活用する方法を政府が考えるようにする。 |
| 18 人口 | 国でいろいろな農機具を農家に貸し出してあげたりすると、能率よくできると思う。一人っ子政策は続けていったほうがよいと思う。 |
| 19 人口 | 交通問題では道路の信号や鉄道を増やしたりすればいいと思う。土地を開墾してたくさん農作物をつくれれば食糧問題も解決できると思う。 |
| 20 I18 | 地方の都市や農村に工場をたくさんつくり、大量生産をし、国内でも今まで以上にたくさん売れば値下がりするから農民も手に入ると思う。それに、郷鎮企業で働けば、今までより多くのお金が手に入ると思う。そして、農村で一台機械を買い時間省いて兼業農家としてやっているとよいと思う。 |
| 21 食糧 | 一人っ子政策が続けば人口を減らすことができるのでこのまま続けていくとよいと思う。品種改良をして、砂漠などを開墾して畑にしたほうがよいと思う。 |
| 22 人口 | 一人っ子政策がなくなるまで50年後は22億3100万人となり、続けていくと50年後は7億7100万人になる。2080年には3億7000万人となる。このままずっと一人っ子政策が続けていくと、かなりの人口を減らすことができるし、水不足も食糧不足もなくなっていくと思う。 |
| 23 | 開墾などをした農地をつくり、品種の改良をした作物がたくさんとれるように工夫すればいいと思います。(食糧) |
| 24 交通 | 中国は人が多いわりに日本と比べてみても鉄道の長さが短いと思う。だから全国に鉄道をつくって、人の行き来がよくなると中国も発展すると思う。 |
| 25 食糧 | 使っていない土地を開墾などをして農地をつくり、品種の改良などをした作物を植えて、たくさんとれるように工夫していけばいいと思う。 |
| 26 教育 | 農村部の就学率が低いのは、家の仕事を手伝って、勉強に力が入れない子が多いから。そのためには組合をつくって国が機械を与える。作った作物を国に買ってもらうとお金が前よりも入るだろう。すると子供は家のことを心配しないで勉強に力を入れてできると思うわけだ。 |
| 27 I18 | まず、電気関係の工場を建てて大量生産をし、輸出はもちろん国内販売にも力をいれ値下げをめざす。農地も必要なので徹底的に土地を開墾し、工場・公園・農地に分ける。工場は煙や排水など害にならないように気を付けさせる。 |
| 28 食糧 | 品種改良をした野菜を作り、砂漠などを開発して畑を作り、農作物を増やす。工業問題では工場を増やすと環境問題にひびくので、汚染しない工場を作ればよいと思う。 |

(6) 成果と課題

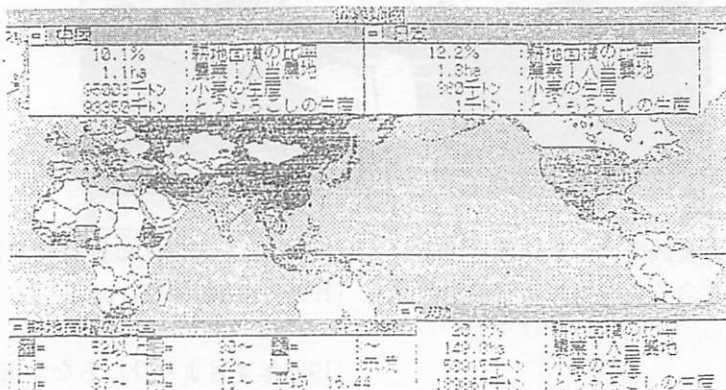
ア 研究の成果

- ①アフターディベートの場を設けたことにより、中国が発展していくための問題点を見だし、その対策を考えることができた。こうした活動を通して生きる力が育っていくものと思われる。
- ②プレゼンテーションの形態で自分たちの考えを主張して質問を受けたり、他のグループの主張を聞いたりして、中国が発展していくための課題を自分なりに判断することが生きる力につながると思われる。
- ③自己評価は、観点別目標と自己目標について、数量評価と学習内容や方法を毎時間書くようにした。

[自己評価カード]

| 学習目標 | 自己目標 | 達成度 | 内容 |
|-----------------------|----------------------------|-----|----------------------------|
| ビデオ 観る | 中国の様子、農業、生活が どこまで分かったか。 | 4 | 中国の様子、農業、生活が どこまで分かったか。 |
| | 中国の歴史や文化について 何を学んだか。 | 3 | 中国の歴史や文化について 何を学んだか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 4 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 5 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 4 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| 課題 考える | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 3 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 4 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 3 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 2 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 5 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| どんな ものか を 作る | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 5 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 4 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 5 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 4 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 5 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| 生産責任 制について | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 4 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 5 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 5 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 4 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 4 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| 一人子政 策について | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 5 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 4 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 5 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 5 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |
| | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 | 5 | 中国の発展に必要な条件 を考えたか。 |

コンピュータでつくる資料



イ 今後の課題

- ①一人一人の見方や考え方を生かし、それをさらに育て伸ばしていった、未来に生きる力として育てていくためのチームティーチングの在り方を明らかにしていくことが課題となる。
- ②未来志向的な見方や考え方を学習過程及び思考過程のどの段階からしていくことがよいのかを研究していくことが課題となる。そして獲得した未来志向的な見方や考え方をどのように地域社会に生かしていくかということが課題となる。

7 研究のまとめ

(1) 2つの実践を通して、一人一人がそれぞれの地域の未来社会について、自分なりの見方や考え方もつことができたと思う。こうした学習を経験していくことが生きる力を育てていくものと思われる。今後は学んだ力を自分の地域社会にどう生かしていけばよいかを考えられるようにしていきたいと思うのである。

(2) 「生きる力」としての要素を「困難な課題や問題に対して取り組む意欲、思考力、判断力、表現力」として捉え、見方や考え方を生かし、未来に生きる力を育てていくために、問題解決的な学習をより一層推し進めていく必要がある。



注

- 1) 茨城大学教育実践研究 第14号 (1995) 「未来社会を志向する社会科学習の創造」, p229.
- 2) 北 俊夫 『生きる力を育てる社会科授業』, (1996), 明治図書, pp.20-22.

(1998年4月よりひたちなか市田彦小学校教諭)